利用規約

提供している資料は「同じ会社内、施設内での研修」や「高校生・大学生のプレゼンテーション参考資料」、「市民向けの教材をボランティアで作成するため」などを想定しています。つまり、当サイトの資料の利用は「教育に対して、無償で貢献するために使用すること」が大前提です。

そのため、社外や施設外の研修にこのサイトの資料を利用することは基本的にできません。例えば、製薬企業や医薬品卸が医療機関へ行う得意先研修としての利用は禁止します。

得意先から金銭を受け取っていなくても、間接的な営業支援となり、売上に貢献します。当サイト内の資料を使用することによる利益獲得は禁止です。営利目的で使用する場合、有償にて承っています。

なお、このサイトで提供するパワーポイントはノート部分に原稿を載せてあります。参考にして頂ければと思います。

役に立つ薬の情報～専門薬学：http://kusuri-jouhou.com/

医療安全
（KYT：危険予知訓練）

役に立つ薬の情報～専門薬学

医療訴訟

- 医療事故は当事者、被害者ともに不幸になる

訴訟大国アメリカでの医療訴訟

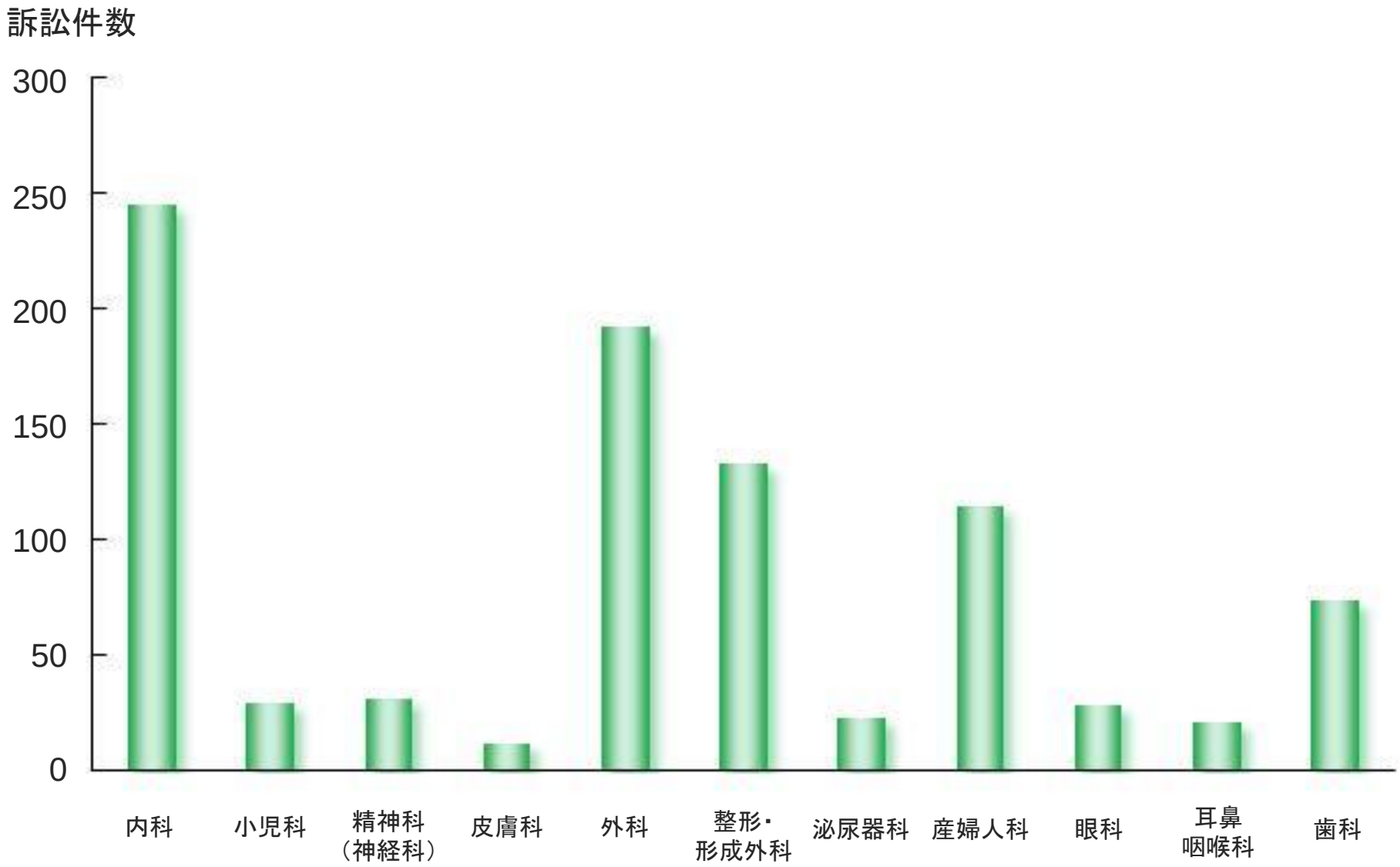
金銭目的の訴訟は22 %にすぎない

訴訟を起こした被害者が望むもの

- 真実の究明：なぜ事故が起こったか
- 事故を起こした当事者からの謝罪
- 事故の再発防止

医療事故を減らすための対策が必要となる

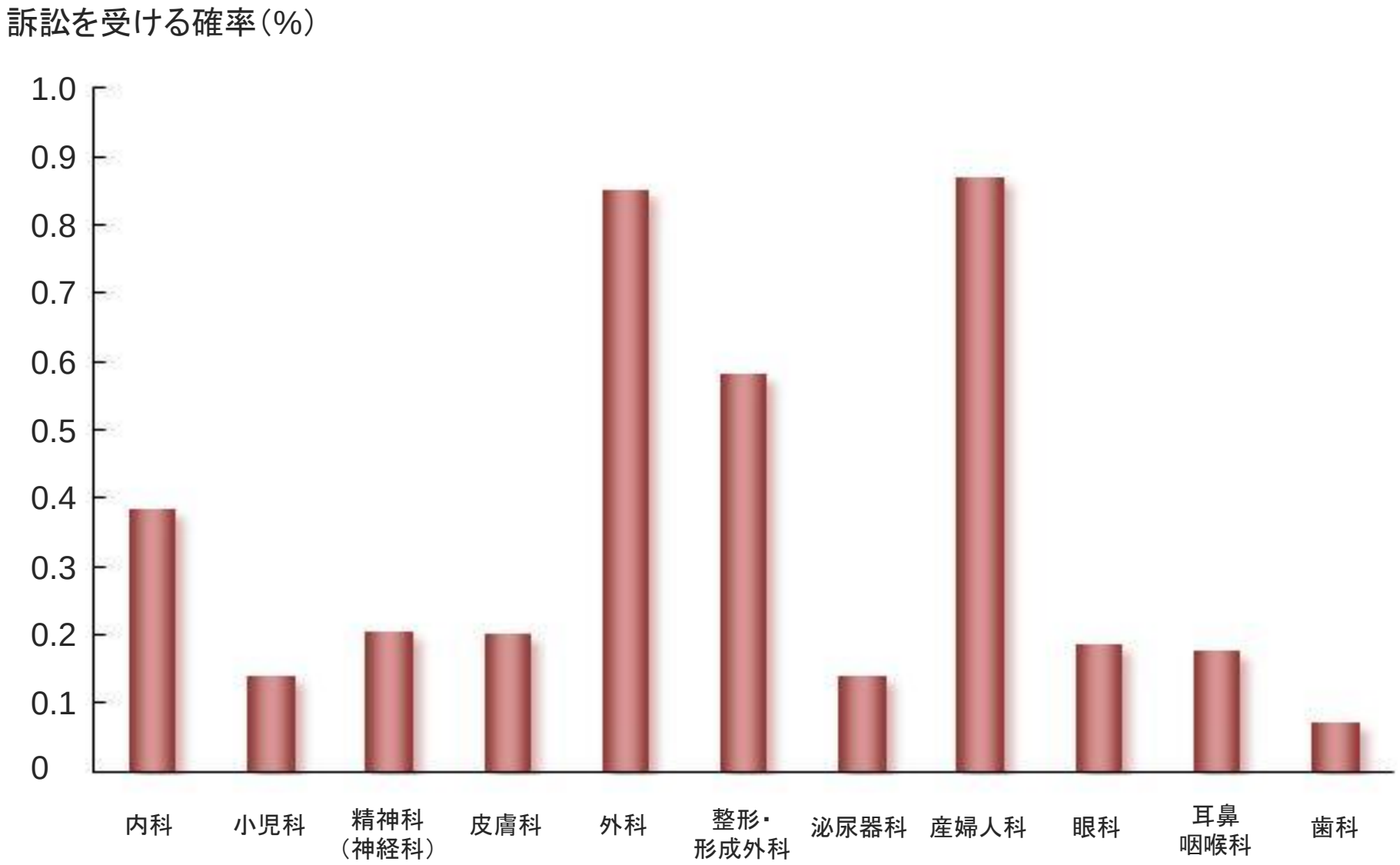
診療科目別の訴訟件数（一年間）



役に立つ薬の情報～専門薬学

最高裁判所　公表データ

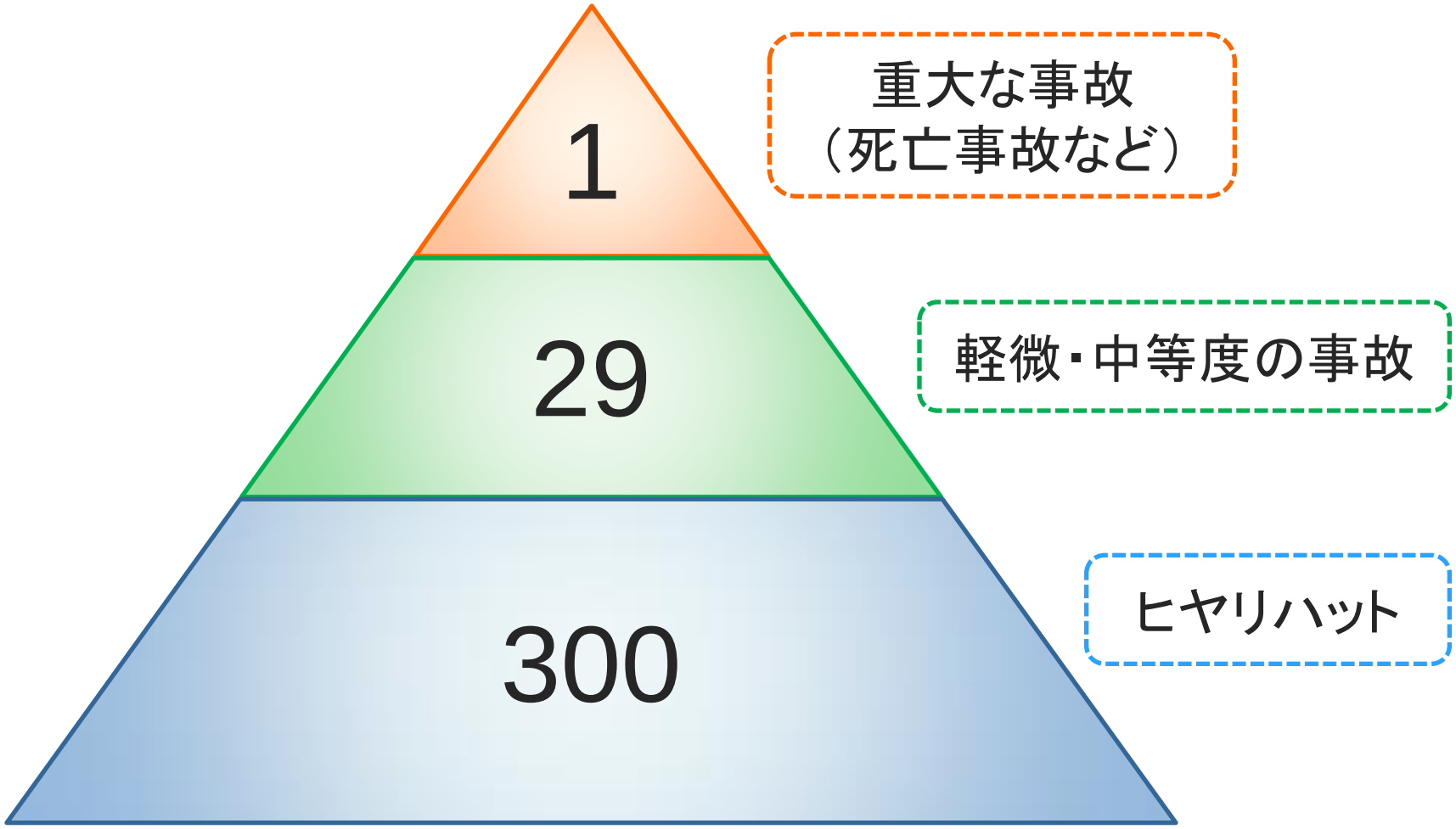
一年間に訴訟を受ける確率



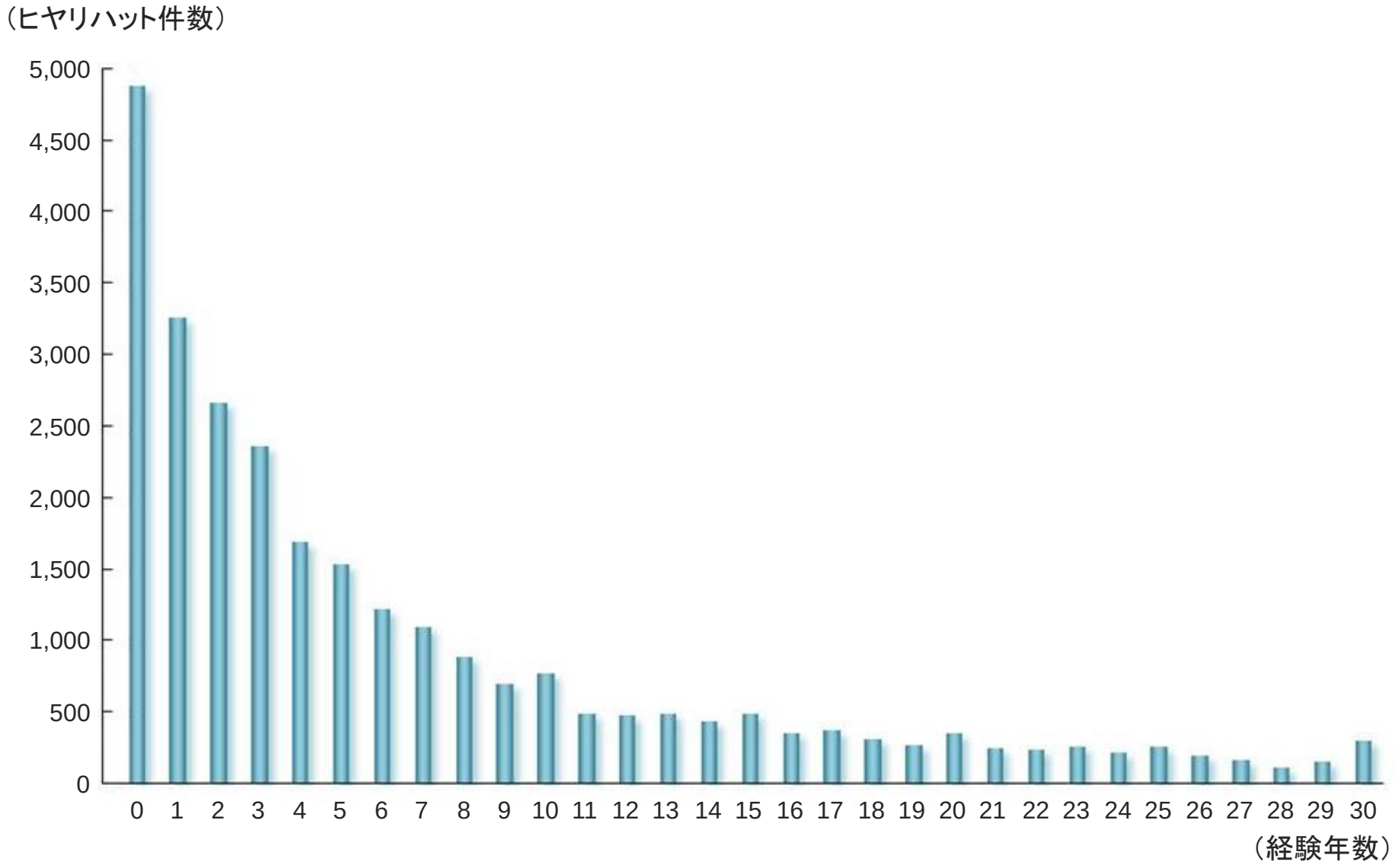
厚生労働省　医師・歯科医師・薬剤師調査の概況

ハインリッヒの法則

- 重大な事故が起こるまでの構図



経験年数別のヒヤリハット件数



日本医療機能評価機構 「医療事故情報収集等事業」

人間は間違いを犯すもの

人間はミスを犯す特性がある

これらの特性を変えることは困難

ミスをしない人間はいない

人間の特性

- 不注意（うっかり・ぼんやり）
- 錯誤（思い込み）
- 省略行為（慣れ、横着 ）
- 焦り（先を急ぐ、パニック）

人間の特性が悪い方面で表れないシステムが重要

エラーを減らすためにKYT が有効

- 作業に潜む危険を話し合い、あらかじめ予知・対策を行う活動

➡ もともとは建設・製造現場で使用

KYT の由来

危険（Kiken）、予知（Yochi）、トレーニング（Training）

- 危険への感受性を高める
- 危険に対する集中力を高める
- 問題解決力・意欲を高める
- チームワークの強化
- 安全意識の高い職場となる

KYT 導入の壁

KYT を実施するために行うこと

- これまで実施したことのないミーティング法
- 指差呼称
- 互いに確認・唱和

➡ 羞恥心、違和感の発生

安全学習を行うに当たって

- 集中的ではなく、定期的に行う
- 成果は長続きしない　忘れてしまう
- 一度に行う必要はない
- 信じていたこと、経験したことに矛盾が生じる

「安全を作り出すのは人間である」という事を知る

KYT の種類

○ イラストKYT

➡ イラストから危険を予測し、対策を立てる

○ 指差呼称

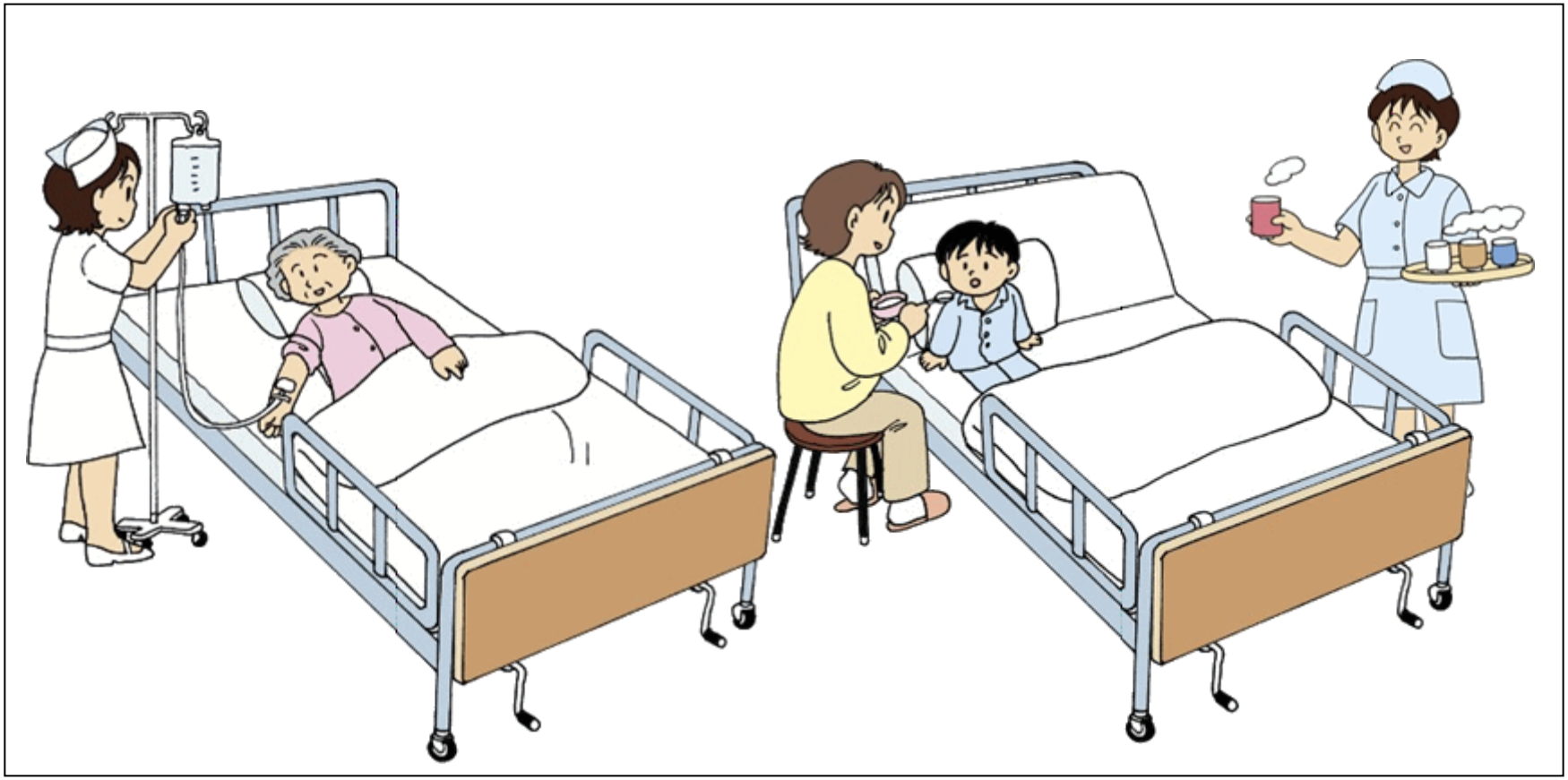
➡ 指で指して声を出し、エラーを減らす

○ 健康確認

➡ 職員の健康状態を確認・問いかけ

イラストKYT

イラストKYT



イラスト中に含まれる危険を予知する

KYT の進め方

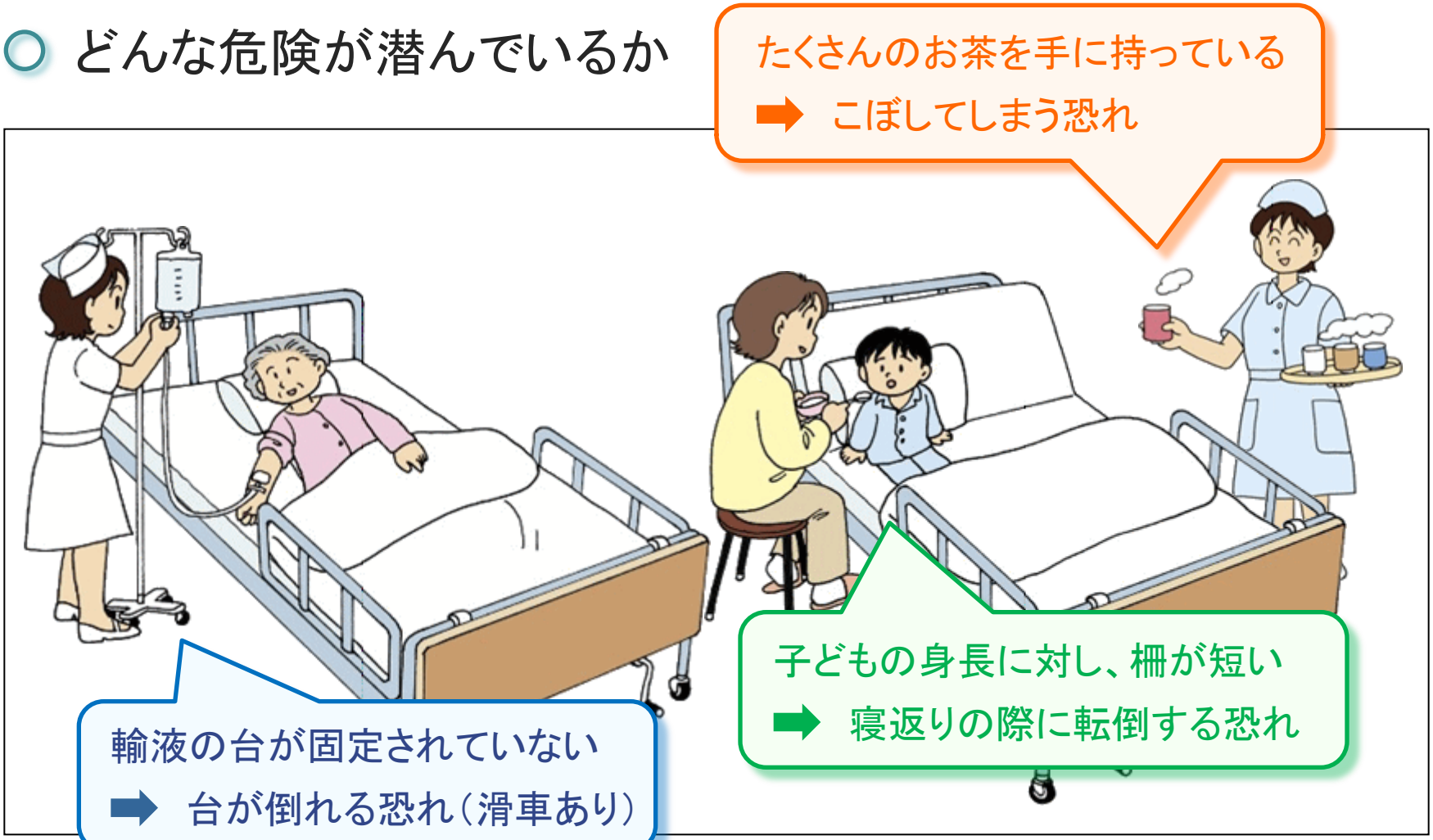
○ 危険予知訓練シートを活用

➡ 潜んでいる危険を話し合い、業務へ反映させる

段階	目標	内容
第一ラウンド	現状把握	どんな危険が潜んでいるか
第二ラウンド	原因追求	危険のポイントを見極める
第三ラウンド	対策立案	あなたならどうする？ 私ならこうする
第四ラウンド	目標設定	私達はこうする

第一ラウンド：現状把握

○ どんな危険が潜んでいるか



第二ラウンド：原因追究

○ 危険のポイントを見極める

➡ 重要度の高いものに分ける

第一ラウンド：現状把握（どんな危険が潜んでいるか）		
第二ラウンド：原因追求（危険のポイントを見極める）		
No.	重要度	想　定　事　項
1	◎	輸液の台が固定されておらず、倒れてしまう（動いてしまう）
2		患者さんに点滴するためのラインがはずれてしまう
3	○	子どもの身長に対して柵が短く、寝返りの際に転倒する
4		多くのお茶を持っていることで、こぼしてしまう

第三ラウンド：対策立案

○ あなたならどうする？　私ならこうする

第三ラウンド：対策立案（あなたならどうする、私ならこうする）		
重要度	No.	具　体　例
◎	1	輸液するための台を地面に固定した後で、輸液をセットする
○	3	子どもの身長に合ったベッドに変える
第四ラウンド：目標設定（私達はこうする）		
チームの行動目標		

第四ラウンド：目標設定

○ 私たちはこうする

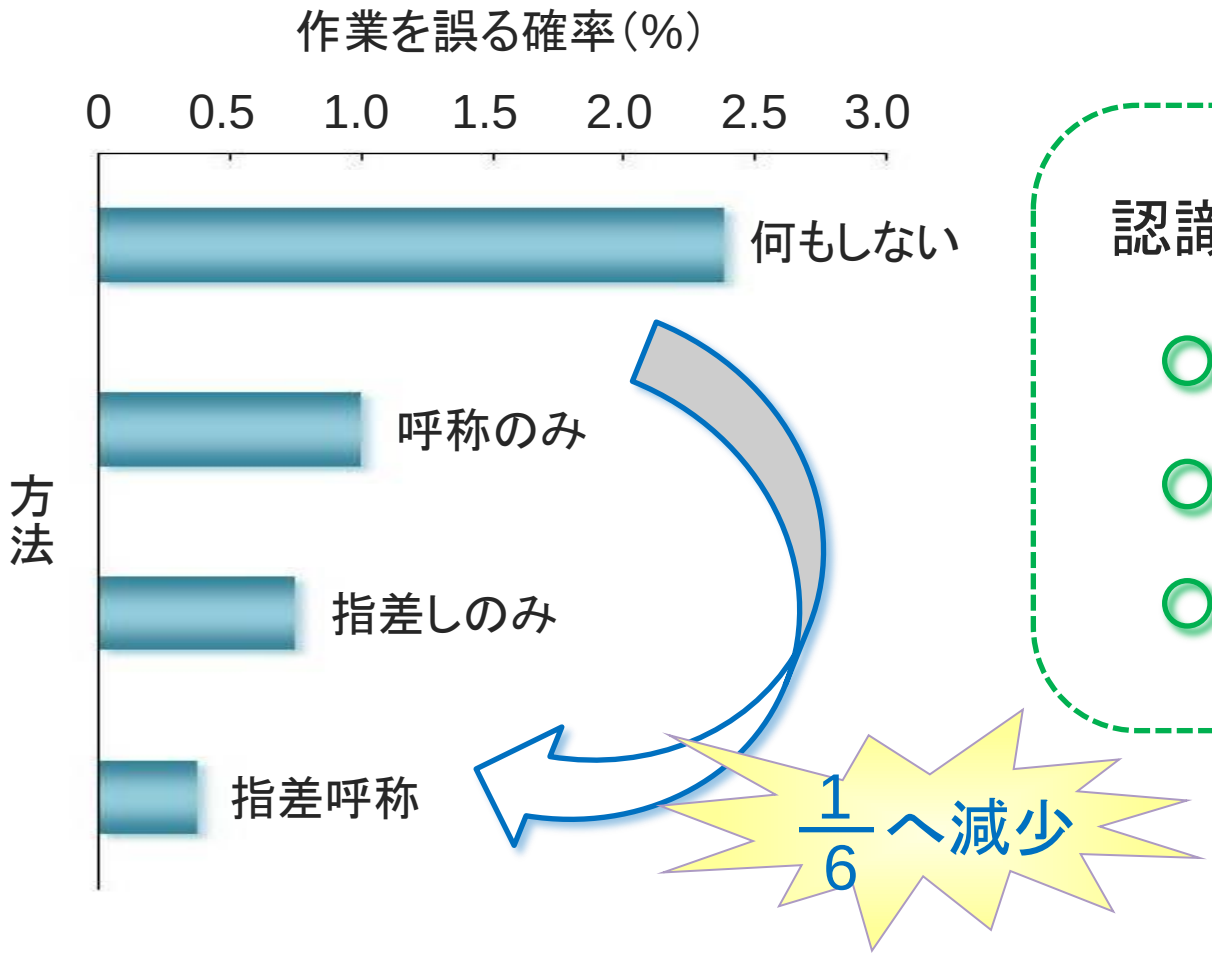
第三ラウンド：対策立案（あなたならどうする、私ならこうする）		
重要度	No.	具　体　例
◎	1	輸液するための台を地面に固定した後で、輸液をセットする
○	3	子どもの身長に合ったベッドに変える
第四ラウンド：目標設定（私達はこうする）		
チームの行動目標		滑車が付いてない器具へ変える
		点滴ルートやベッド周りの点検を徹底
		「輸液固定よし！」「ベッドの安全確認よし！」と指差呼称する

指差呼称

○ 指差呼称

指を差して呼称する

指差呼称



認識した対象に対して、

- 眼で確認
- 耳（声）で確認
- 手で確認

指差呼称により、ミスが6 分の1 に減少

健康確認

- 健康状態の不良

➡ ヒューマンエラーや災害に繋がる

健康確認（観察項目）

- 姿勢

- 動作

- 眼

- 表情

- 会話

職員同士で健康状態を把握する

健康確認

○ 健康確認の例

健康確認はコミュニケーションのツールにもなる

まとめ

- 人間の特性

➡ 人間はもともとミスを起こしやすい

KYT を導入することで

ヒューマンエラーなどの「うっかり」を減らすことができる

- イラストKYT：気がつかなかった日常の危険を認識できる
- 指差呼称：駅員さんなど、日常生活でも行われている
- 健康確認：日々のコミュニケーションにも繋がる